



平成31年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年7月11日

上場会社名 株式会社ライフコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 8194 URL http://www.lifecorp.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 清水 信次
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート統括補佐 (氏名) 内田 良一 TEL 03-5807-5722
 兼財務本部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第1四半期の連結業績（平成30年3月1日～平成30年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第1四半期	170,687	1.8	2,680	△11.1	2,795	△10.0	1,669	△15.0
30年2月期第1四半期	167,658	3.8	3,015	△24.0	3,106	△21.9	1,963	△22.6

(注) 包括利益 31年2月期第1四半期 1,727百万円 (△10.7%) 30年2月期第1四半期 1,935百万円 (△24.6%)

(参考) 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

売上高 31年2月期第1四半期 165,640百万円 (1.7%) 30年2月期第1四半期 162,893百万円 (3.8%)

営業収入 31年2月期第1四半期 5,047百万円 (5.9%) 30年2月期第1四半期 4,765百万円 (4.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第1四半期	35.61	—
30年2月期第1四半期	41.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年2月期第1四半期	240,447	70,296	29.2	1,499.83
30年2月期	227,552	69,271	30.4	1,477.96

(参考) 自己資本 31年2月期第1四半期 70,296百万円 30年2月期 69,271百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	15.00	—	15.00	30.00
31年2月期	—	—	—	—	—
31年2月期（予想）	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年2月期の連結業績予想（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	353,000	5.2	4,300	△13.2	4,500	△13.3	2,600	3.9	55.47
通期	717,000	5.8	10,800	△10.7	11,000	△12.4	6,800	3.7	145.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年2月期1Q	53,450,800株	30年2月期	53,450,800株
② 期末自己株式数	31年2月期1Q	6,581,134株	30年2月期	6,580,998株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年2月期1Q	46,869,752株	30年2月期1Q	46,818,150株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、1-3月期の実質GDP成長率が9四半期ぶりのマイナス成長に転じるなど減速がみられ、企業収益は改善傾向にあるものの人件費の増加や原油価格の上昇等の影響により、設備投資は鈍化しております。一方、個人消費は力強さはないものの、緩やかな回復が継続しております。このような情勢は堅調な企業業績に支えられ、わが国経済は緩やかに拡大するものと考えられます。

当社グループの事業領域である食品スーパー業界におきましては、こうした情勢に高齢化や人口減少によるマーケット規模の縮小、人手不足による人件費の上昇、物流コストの上昇等の逆風が加わる中で、コンビニエンスストアやドラッグストア等他業態との事業領域の垣根が低下するとともに、店舗形態の多様化やネット通販の拡大、ネット店舗とリアル店舗の融合、食品宅配事業への大手参入等、事業環境の大きな変化が継続しており、以前にも増して熾烈な競争を強いられております。

こうした経営環境下、当社グループは当連結会計年度よりスタートした「第六次中期計画」において、「第五次中期3ヵ年計画」での反省及び外部環境の変化を踏まえたうえで、当社グループの現状課題を再確認しつつ、当社グループが目指すべき姿を『ライフらしき宣言』として明文化し、「お店が主役!」、「人への投資」、「店への投資」、「商品への投資」、「ライフの強み」、「ライフらしさを支える戦略」、「浸透・発展と継続活動」の各アクションプランを掲げ、各種施策を遂行しております。そして「第六次中期計画」4年後の最終年度には、「お客様からも社会からも従業員からも信頼される」事業体として、「売上高8,000億円、経常利益200億円の業容を有する、名実ともに日本一のスーパーマーケット」の実現に向けて、全社を挙げて取り組んでおります。

また、当第1四半期連結累計期間に新規店舗として、4月に八戸ノ里店(大阪府)・東馬込店(東京都)・鶴見今津北店(大阪府)、5月に東府中店(東京都)・西淡路店(大阪府)の5店舗を出店するとともに1店舗を閉鎖したほか、既存店舗の八尾店、中目黒店、前野町店、野田店、十三東店の5店舗でお客様のニーズの変化に対応した改装を行いました。

当社グループの業績におきましては、新規店舗及び既存店舗の改装が寄与したことに加え、売上拡大・客数増加に向けた販売促進の各種施策により、営業収益は1,706億87百万円(前年同四半期比1.8%増)となりました。利益面におきましては前年同四半期に比べ荒利率改善が見られるものの、採用強化や時給アップに伴う人件費、運賃・光熱費の上昇による物件費、新規店舗及び既存店舗改装による一時経費負担増のコスト増加並びに償却費の増加もあり、営業利益は26億80百万円(前年同四半期比11.1%減)、経常利益は27億95百万円(前年同四半期比10.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億69百万円(前年同四半期比15.0%減)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

(小売事業)

営業収益は1,705億48百万円(前年同四半期比1.8%増)、売上高は1,656億40百万円(前年同四半期比1.7%増)、セグメント利益は28億15百万円(前年同四半期比10.9%減)となりました。

なお、部門別売上高は、生鮮食品部門が683億20百万円(前年同四半期比2.2%増)、一般食品部門725億78百万円(前年同四半期比1.6%増)、生活関連用品部門150億82百万円(前年同四半期比0.7%増)、衣料品部門69億72百万円(前年同四半期比1.2%減)、テナント部門26億87百万円(前年同四半期比4.3%増)となりました。

(その他)

株式会社ライフフィナンシャルサービスの営業収益は3億95百万円(前年同四半期比33.6%増)、セグメント損失は20百万円(前年同四半期比32百万円改善)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、2,404億47百万円と前連結会計年度末に比べ128億94百万円増加いたしました。

流動資産は、570億22百万円と前連結会計年度末に比べ21億41百万円減少いたしました。これは主として売掛金が11億90百万円増加した一方、未収入金(流動資産その他)が46億9百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、1,834億24百万円と前連結会計年度末に比べ150億36百万円増加いたしました。これは主として店舗の新設や土地取得などにより減価償却後の有形固定資産が前連結会計年度末に比べ146億7百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、1,701億50百万円と前連結会計年度末に比べ118億70百万円増加いたしました。これは主として仕入高の純増などにより買掛金が前連結会計年度末に比べ48億40百万円、短期借入金及び長期借入金の合計が30億57百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、702億96百万円と前連結会計年度末に比べ10億24百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金が9億66百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期の連結業績予想につきましては、平成30年4月11日の「平成30年2月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想からの変更はありません。

なお、今後事業環境等の変化により、連結業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,092	8,244
売掛金	2,715	3,906
有価証券	264	104
商品及び製品	23,166	24,153
原材料及び貯蔵品	93	89
その他	24,832	20,524
流動資産合計	59,163	57,022
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	81,829	85,816
土地	24,410	35,310
その他(純額)	19,131	18,852
有形固定資産合計	125,371	139,979
無形固定資産	2,713	2,849
投資その他の資産		
差入保証金	24,589	24,386
その他	15,760	16,256
貸倒引当金	△45	△46
投資その他の資産合計	40,303	40,596
固定資産合計	168,388	183,424
資産合計	227,552	240,447
負債の部		
流動負債		
買掛金	38,423	43,263
短期借入金	33,950	25,000
1年内返済予定の長期借入金	12,976	14,368
未払法人税等	2,387	1,436
賞与引当金	2,318	3,778
販売促進引当金	2,342	2,348
その他	20,399	23,602
流動負債合計	112,797	113,797
固定負債		
長期借入金	25,367	35,982
役員退職慰労引当金	369	376
退職給付に係る負債	6,574	6,619
資産除去債務	4,480	4,657
その他	8,691	8,717
固定負債合計	45,483	56,352
負債合計	158,280	170,150
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,004	10,004
資本剰余金	11,548	11,548
利益剰余金	58,065	59,031
自己株式	△9,844	△9,845
株主資本合計	69,773	70,738
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	694	704
土地再評価差額金	△484	△484
退職給付に係る調整累計額	△711	△662
その他の包括利益累計額合計	△501	△442
純資産合計	69,271	70,296
負債純資産合計	227,552	240,447

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
売上高	162,893	165,640
売上原価	117,943	118,985
売上総利益	44,949	46,655
営業収入	4,765	5,047
営業総利益	49,715	51,702
販売費及び一般管理費	46,699	49,022
営業利益	3,015	2,680
営業外収益		
受取利息	38	38
受取配当金	30	6
リサイクル収入	34	70
その他	87	96
営業外収益合計	190	212
営業外費用		
支払利息	80	74
その他	18	22
営業外費用合計	98	96
経常利益	3,106	2,795
特別損失		
減損損失	66	149
店舗閉鎖損失	34	40
固定資産除却損	25	36
その他	19	9
特別損失合計	145	235
税金等調整前四半期純利益	2,961	2,559
法人税、住民税及び事業税	1,319	1,096
法人税等調整額	△321	△206
法人税等合計	998	890
四半期純利益	1,963	1,669
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,963	1,669

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
四半期純利益	1,963	1,669
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△76	10
退職給付に係る調整額	48	48
その他の包括利益合計	△27	58
四半期包括利益	1,935	1,727
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,935	1,727

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年5月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他(注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	小売事業				
営業収益					
外部顧客への営業収益	167,564	94	167,658	—	167,658
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	0	201	201	△201	—
計	167,564	295	167,860	△201	167,658
セグメント利益又は損失 (△)	3,159	△52	3,106	—	3,106

(注)1 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2 「その他」はクレジットカード事業等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年5月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他(注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	小売事業				
営業収益					
外部顧客への営業収益	170,548	139	170,687	—	170,687
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	0	255	256	△256	—
計	170,548	395	170,943	△256	170,687
セグメント利益又は損失 (△)	2,815	△20	2,795	—	2,795

(注)1 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2 「その他」はクレジットカード事業等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。